

2018 年度 事業計画書

2018 年 4 月 1 日から
2019 年 3 月 31 日まで

2018 年度において、次のとおり事業を実施します。

1. 公益目的事業

(1) 講座・セミナー・育成に関する事業

①国内研修会

- ・海外の保険監督官庁や保険会社などの役職員を対象として、別紙（次頁）に掲げる内容で研修会を開催

②海外研修会等

- ・ウズベキスタン等にて、保険監督官庁や保険会社などの役職員を対象として、研修会を開催
- ・その他研修準備等のため、海外出張を実施

③懸賞論文及びセミナー等保険リテラシー向上のための取組

- ・開発途上にある国や地域から日本への留学生を対象とした懸賞論文及びセミナーの実施
- ・国内の大学において主に留学生を対象とした生命保険関係のセミナー実施
- ・フィリピンにおいて主に高校生を対象とした保険リテラシー向上のためのセミナー及び作文コンテストの実施
- ・その他保険リテラシー向上のための取組の検討

(2) 調査・資料収集に関する事業

～ (1) の各項目に付帯する事業と位置付け～

①情報提供等

- ・財団の事業活動等に関する情報や、(2) ②に記載する各国の保険事情調査内容等をインターネットを通じて提供（ホームページ <http://www.falia.or.jp/>）
- ・メールマガジンの発信

②海外保険事情の情報収集

- ・研修参加各国の保険市場ファンダメンタルズ情報（制度・構造・動向等）の収集・分析・比較研究等

2. 法人（管理部門）

総務・会計・企画業務の特記事項として次の業務を実施

- ・公益財団法人としての適切な運営
- ・海外からの研修参加者についてリスク管理体制の強化
- ・情報管理体制の強化
- ・東アジア保険会議に参加

以上

2018年度 国内研修会

区分	対象	研修会名	テーマ	フォーカス	研修期間	招致人員
国内研修会	管理職	資産運用ALMとIFRSコース	生命保険会社のALMとIFRSへの対応	ALM等生命保険会社に求められる運用方針とリスク管理、IFRSの課題と対応	5月 4日間程度	約25名
		ITコース	生命保険会社におけるITシステムの現状と戦略	生保ビジネス環境変化に対応したセキュリティ対策と“InsurTech”の効果的活用の可能性	7月 1週間程度	約40名
		チャンネル戦略と商品開発コース	チャンネル戦略とチャンネル特性に対応した商品戦略	専業外務員、銀行窓販、独立代理店等の各チャンネルへの取組と商品戦略	9月 1週間程度	約40名
		リスク管理コース	生命保険会社におけるリスク管理	全社的リスク管理における最新の取組とベストプラクティスの共有化	11月 1週間程度	約40名
研修会個別	ミャンマー	海外の保険監督庁や保険会社などの要望に応じて実施			11月下旬～12月上旬 5日間程度	約3名